

令和元年度 第7回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録

1 開催日時

令和2年3月16日(月) 午後2時00分から午後4時30分

2 開催場所

市文化センター2階 中会議室

3 出席者

(1) 児童福祉専門分科会委員(15名のうち10名出席) ※五十音順

伊藤順朗委員、小川美代子委員、草野祐香利委員、小玉則子委員、強口暢子委員(会長)、佐藤早苗委員、志賀達生委員、菅波香織委員、芳賀定道委員、宮内隆光委員

(2) 事務局(16名)

こどもみらい部：高萩部長

こどもみらい課：小島課長、松崎統括主幹兼課長補佐、草野主幹兼課長補佐、草野主任主査兼企画係長、川嶋主査、渡邊事務主任、植木主事

こども支援課：鈴木参事兼課長、中村主幹兼課長補佐

こども家庭課：武山課長兼子育てサポートセンター所長、松川主幹兼課長補佐
館子育てサポートセンター次長

学校教育課：玉澤課長

4 協議事項

(1) 幼保連携型認定こども園等の認可について(資料1)

(2) 第二次いわき市子ども・子育て支援事業計画について(資料2)

5 報告事項

(1) 令和2年度当初予算(主な施策)について(資料3)

6 その他

(1) いわき市子どもの生活実態調査結果について(他市との比較)(資料4)

(2) 放課後児童クラブについて(資料5)

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る対応について(資料6)

7 会議の形式等について

- ・ 委員半数以上の出席があり、会議が成立していることを報告した。
- ・ 会議を公開することを確認した。
- ・ 議事録は、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。
- ・ 議事録署名人は、芳賀定道委員、宮内隆光委員の2名を選出した。

- ・ 傍聴人 1名

8 内 容

～協議事項～

(1) 幼保連携型認定こども園等の認可について

発言者	発言内容
会長	協議事項の「(1) 幼保連携型認定こども園等の認可」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料1に基づき説明（こどもみらい課主幹兼課長補佐）
会長	事務局から説明のあった内容で、了としてよいか。
委員	異議なし ⇒「協議事項(1)」終了

(2) 第二次いわき市子ども・子育て支援事業計画について

発言者	発言内容
会長	協議事項の「(2) 第二次いわき市子ども・子育て支援事業計画」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料2に基づき説明（こどもみらい課長）
A委員	資料2の基本理念の図が計画の表紙に使われるのか。
事務局	表紙と本編25ページに使用するイメージである。
A委員	基本理念の図について、今の図だと、子どもが真ん中にいて笑顔なのは良いが、男の子が青い服、女の子が赤い服を着ており、赤ちゃんを抱っこしているのが女性。男の子女の子はこうであるべき、女性や女性の保育士が子育てを担う、というイメージで伝わってしまう。 性的差別を無くし、様々な大人が子どもに関わる、という意味でこのような所からも変えていく必要があると思う。
B委員	シンボルとしてはこのような図はありではないか。このようなイラストであれば、様々な人が子育てに参加するいわき市のイメージが伝わる。

発言者	発言内容
C委員	もう少しいわき市のイメージがわくイラストに入れてもらえればいいと思う。
事務局	服装や子どもを抱っこする人の性別などの対応を検討する。 まちのイメージについては、できる限り対応したいが、ある程度この中での工夫ということでご容赦いただきたい。
C委員	資料2の中のデータについて、事業の隣にQRコードを記載して市公式ホームページの該当ページにたどりつけるようにしたほうがよいのでは。会議の内容についてもリンクを貼って議事録のページまでとべるようにしたほうがよいと思う。
D委員	P33「産前・産後サポート事業」、P34「授乳支援（おっぱい相談）事業」、「プレママ・プレパパクラス」、「ホームスタート事業」について、事業の内容を分かりやすくするため、加筆してはどうか。
事務局	各事業内容への加筆については、担当課に確認した上で、対応したい。
会長	できる範囲で本日の委員からの意見を反映させてもらった上で、策定していただくということでしょうか。
委員	異議なし ⇒「協議事項(2)」終了

・ ～報告事項～

(1) 令和2年度当初予算（主な施策）について

発言者	発言内容
会長	報告事項の「(1) 令和2年度当初予算（主な施策）」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料3に基づき説明 (こどもみらい課長、こども支援課長、こども家庭課長、学校教育課長)
A委員	資料3の3ページの37番、「子育て短期支援事業」について、今年度スタートしたと思うが、実績を教えてください。
事務局	令和元年5月から令和2年2月末日までの延べ利用者数は226件。
A委員	その件数は市の予想より多いのか少ないのか。
事務局	予算編成時には中核市の利用実績の平均約128万円で計上しており、現在の実績は約100万円となっていることから、概ね予想通りになっている。
C委員	資料3の6ページの78番、「次世代の教育情報化推進事業」について、ICT教育はどの程度のレベルでやっていくのか。
事務局	国で昨年末に「GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想」というのが発表されたが、国で全て予算をみてるわけではないため、検討中。 なお、来年度の予算としては学校のコンピュータ室にあるパソコンをタブレットに置き換える予定。
C委員	平成27年からタブレット教育が始まると言っているが、間延びしている印象。郡山市では品川市長になってから進んでいる。今後子どもたちの教育的サポートのため、予算的に難しい部分もあるとは思いますが、学校が必要と思う環境の整備が進むよう期待している。
D委員	資料3の2ページの16番、「子育て世代のための地域交流支援事業」とはどのような事業内容なのか。目的やポイントは。そしてどの様に展開されるのか。

発言者	発言内容
事務局	<p>目的は3つ。一つは乳幼児とその親同士の交流、二つ目は支援者育成、三つ目は育児不安による疾患、虐待の未然防止。託児所付きの親同士の地域交流会のような集まりを想定している。</p> <p>多胎児の親やアレルギーを持つ子の親など、共通の悩みを持った親が集まり、グループで悩みを解決してもらったりするもので、一般社団法人Wendyに委託する予定。</p>
D委員	<p>民間支援者の育成は具体的にどのようにするのか。</p>
事務局	<p>集まってくくださった方々や団体の方に、子育て支援員研修の受講を促したりすることを想定している。</p>
E委員	<p>資料3の2ページの18番、「公立保育所整備事業」で、夏井保育所と高久保育園が統合するということだが、今後子どもが少なくなっていく中で、公立保育所の建て替え等により、私立の保育所などの入所児童が減ずる心配もある。10月から現在は無償化になって保育料は公立と私立では差がなくなっているが、今後同様の統合等の計画はあるのか。</p>
事務局	<p>現時点での統合は、夏井保育所と高久保育園のみ。今後、老朽化等に対応する中で施設整備の手法については検討する。</p> <p>なお、今回のプランに定めた需給計画は、民間の整備の意向を盛り込んでおり、公立の幼稚園・保育所の整備は、その範囲で対応することとなる。</p> <p>今回の統合は、高久保育園と夏井保育所を合わせた定員を想定し、近隣の幼稚園や保育所の立地状況を踏まえ、高久保育園の場所に整備することとした。今後の整備に当たっても、近隣の施設の立地状況を踏まえ、対応していくこととなる。</p>
会長	<p>今後統合などの計画があるときは、改めて審議会に諮られることになると思う。</p>
F委員	<p>資料3の2ページの15番、「保育施設巡回支援指導事業」では、どのような所に委託するのか。</p> <p>保育の質を確保するためなら、外部に委託するのではなく、市が直接指導する方が良いと思う。</p>

・ ～その他～

(1) いわき市子どもの生活実態調査結果について（他市との比較）

発言者	発言内容
会長	その他の「(1)いわき市子どもの生活実態調査結果について（他市との比較）」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料4に基づき説明（こどもみらい課長） 意見なし ⇒「報告事項(1)」終了

(2) 放課後児童クラブについて

発言者	発言内容
会長	その他の「(2)放課後児童クラブについて」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料5に基づき説明（こども支援課長）
A委員	令和元年度の待機児童9名はどのように解消されたのか。
事務局	希望する放課後児童クラブに入所できた児童が5名、高学年になり自分で留守番できるようになったり、祖父母が見てくれるため希望を取り下げた児童が4名になっている。
A委員	四倉小の児童クラブでは待機児童が15名になると聞いている。いわき市は、いい意味で「1学区1学童」を進めてきた。しかし、民間の団体では放課後児童クラブをやりたいが、「1学区1学童」という決まりがあってできないという話を聞いている。このあたりをどのように進められるのか。「1学区1学童」の根拠はあるのか。
事務局	現状は1学区に複数あるところもある。「1学区1学童」という方針はない。
会長	なぜ「1学区1学童」となって聞こえているのか。
事務局	わからない。平五小は3クラブある。「1学区1学童」ではない。

発言者	発言内容
会長	四倉小の児童クラブの件はどうなっているのか。
事務局	四倉小の児童クラブは2つ。定員が本来なら80名のところ、20名増の100名で対応してきたが、子どものストレスなどを考え、受託法人が、令和2年度から定員を尊重した運営を行うこととした結果、現時点で15名超過していると聞いている。
会長	15名の子どもたちの対応はどのようにしたのか。
事務局	詳細は把握していないが、受託法人において、個別に相談を受け付けていると聞いている。
会長	この件は、具体的に事務局でわかる範囲で調べていただきたい。
E委員	「1学区1学童」は、運営費補助の問題で言われているのではないか。
事務局	そのようなことはない。
会長	1つの学童の定員の規模は。
事務局	40名程度が適当とされている。
C委員	四倉小の児童クラブについて、令和2年度からの受入れを定員に合わせるというのは市の指導なのか。
事務局	法人の判断である。
C委員	先生の人数、面積が問題ではないのか。
事務局	子どもたちのストレスなどを考えた事業者の判断ときいている。

発言者	発言内容
会長	面積基準はあるのか。
事務局	1人あたり1.65㎡。
A委員	<p>四倉小の児童クラブの件はプロセスが問題。 あふれている児童を受け入れているのが委託を受けていない民間や株式会社になっている。助成金などが無い中、自助努力で運営している。</p>
会長	<p>四倉小の児童クラブの件は具体的な内容がわからないので、事務局で再調査してから検討とし、一旦今日はこれで差し控える。</p> <p>⇒「その他(2)」終了</p>

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る対応について

発言者	発言内容
会長	その他の「(3)新型コロナウイルス感染症に係る対応」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料6に基づき説明（こどもみらい課長）
C委員	いわき市独自の形で決められなかったのか。市で事前に対応の仕方を決めておいたほうがよいのではないかと。
事務局	2月27日木曜日の夜、突然の発表があり、国からの通知が出ない状態での対応だった。県教育委員会とも何度も口頭でやりとりをし、通知予定を聞き、市長とも話し合っって臨時休校の期間を決めた。 卒業式については、人生の大切な節目ということで行うとした。 今後は状況について随時お知らせしていく。今後の対応の仕方については可能な限り協議・検討していく。
会長	事前決めておいたほうがよいとは思いますが、なかなか難しい。
C委員	小学校が休みになって、児童は休校中に先生と子どもとの直接的な関わりがない。アプリを使った親からの安否確認等はあるが、2週間経ったが、児童の心のケアができていないのでは。
A委員	子どもたちは先生とコミュニケーションを取りたいと思っている。忙しいとは思いますが、各家庭に宿題のプリントを届けるなどして、何らかのアプローチがほしい。
G委員	先生の離任によって、子どもは、突然、担任が代わってしまう。子どもたちは寂しいと思う。どうにかできないか。
H委員	心のケアはとても大切だが、学校の規模で変わってしまう。 家庭訪問については、先生が、直接訪問することについて、マイナスにとらえる方もいる。 電話の場合、学校には1回線しかなく、かけている間は受電できなくなり、業務に支障が出る。大きい学校だと1日中かかる。 大切なのは家庭に寄り添うこと。どのようにできるかは、家庭や先生方から意見があったら検討していくことが必要と思う。

発言者	発言内容
I 委員	やはり規模の違いだと思う。東日本大震災のときも同じような状況で、いい意味でも悪い意味でも経験しているということで、私の地区の学校では、先生方の対応も柔軟で子どもたちはコミュニケーションが取れている。
事務局	教育委員会からは各学校に安否確認を行うよう依頼している。市外などに行っている場合の子どもの居場所の確認、校外補導についても適切に行うよう依頼している。
A 委員	貧困層は昼食代や生活費が大変。児童手当の増額等、現金支給なども考えてほしい。ゴールが見えない大変さや、子どもを閉じ込めるストレスと経済的負担がある。
C 委員	入学式はできるようにしてほしい。 いわき市で一名感染したのは高齢者なのに、なぜ子どもを閉じ込めなければいけないのか。節目の行事は実施していく方向で考えてほしい。
会長	他の会議は中止になったが、この会議は中止にならなかった。必要な会議は実施すべきだと思う。 この審議会での意見を市長に伝えてもらえれば。
事務局	これまで対策本部会議を6回行っており、庁内で情報共有している。保育所、屋内遊び場等は、対策をした上で、できる限り通常通りの運営する考えだが、新たな感染者が発生した場合等は随時対応することとなる。 保護者への国の支援策は、まだ具体的に示されていない。 国の支援策が示されるまでの間は、貸付制度などをご利用いただけるよう理解願いたい。 支援策は、判明次第、広く周知する考えである。 ⇒「その他(3)」終了

以上の議事録が正確であることを証するため、次に署名押印する。

令和 年 月 日

議事録署名人

⑩